

ジェンダー、環境改善… 47テーマ

身近な課題掘り下げ検証

長井

長井市の長井高（青柳敦子校長）の2年生が取り組む「課題研究」校内発表会が11日、同校で開かれた。生徒165人はジェンダーや環境改善などに関する計47のテーマごとにグループをつくり、検証結果をそれぞれ発表した。

探究コースの17グループは、の比較などを動画も用いて検証。生徒総会でスラックス導入を訴えて過半数の賛同を得るなど、学校全体の価値観を変えらるきっかけをつくったことを発表した。

まためたポスターを掲示しながら5分間で発表し、聞き手の生徒との質疑応答も行った。

探究コースは▽快適な環境と換気▽目指せリラックスポイント▽教養って何だろう？▽高校生と子ども食堂の未来―など多様なテーマが並んだ。

女子の制服のスカートに疑問を持ったグループは、学校生活での機能性やスラックスと

外部審査員7人が審査を行い、県探究型学習課題研究発表会（12月18日）に出場する

長井高2年生発表 商品開発、販売も



課題研究の検証結果を発表する生徒たち＝長井市・長井高

代表4グループが決まった。研究テーマは次の通り。

▽女子の制服は、なぜスカートなの？～スラックスの選択で広がる視野▽男らしく、女らしくって古くない？～世代間でのジェンダーギャップを縮めよう▽教室改善計画▽高校生と地域をつなぐSN

（石井剛）